



## 納入仕様書

納入先：  
品名：電気機器用耐熱ビニル絶縁電線  
HKIV

仕様書番号：SD1047C-18

年 月 日 発行

品川電 株式会社





仕様書番号 : SD 1047C-18

## 変更履歴

	年月日	見直し・変更内容	変更理由	承認	担当
制定	1990. 3. 9	新規制定		長田	宮田
確認	1993. 3. 9	仕様内容を確認	見直し周期	長田	宮田
確認	1996. 3. 9	仕様内容を確認	見直し周期	陸	宮田
確認	1999. 3. 9	仕様内容を確認	見直し周期	森安	宮田
改版	1999. 11. 4	<ul style="list-style-type: none"><li>・ [4. 特性] を [4. 特性及び試験方法] に変更し、0.75~14mm<sup>2</sup> は JIS C 3316 を引用 22~100mm<sup>2</sup> は JIS C 3317 を引用するものとした。</li><li>・ [5. 表示] の内容を具体例を記載する形に変更。</li><li>・ 絶縁抵抗を高温絶縁抵抗に変更。</li><li>・ 概算質量変更 0.75mm<sup>2</sup> : 15→14, 2.0mm<sup>2</sup> : 25→28, 3.5mm<sup>2</sup> : 45→46, 38mm<sup>2</sup> : 435→440, 60mm<sup>2</sup> : 665→670</li><li>・ 付表より標準条長を削除。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 特性、表示の変更は納入仕様書標準化のため。</li><li>・ 絶縁抵抗を高温絶縁抵抗としたのは JIS との整合化のため。</li><li>・ 概算質量の変更は、計算方法見直しによる。</li><li>・ 標準上長の削除は、条長の多様化への対応のため。</li></ul>	森安	宮田
改版	2000. 6. 19	表紙の様式を変更（変更履歴を表紙から本文 1 頁目に移行）	納入仕様書標準化	森安	宮田
改版	2001. 10. 1	1. 適用範囲に被覆物に鉛化合物を含有していない旨を追記 5. 表示にサイズ (0.75mm <sup>2</sup> ~38mm <sup>2</sup> ) 及び被覆物に鉛化合物を含有していない旨の表示 (LF) を追加	適用範囲変更及び表示に LF の追加は、被覆物に鉛化合物を含まないことの明確化のため	森安	芦原
改版	2002. 12. 16	5. 表示の電気用品取締法の型式認可済みの事項 (▽) を電気用品安全法による特定電気用品に表示する記号 (<PS>E) に変更	電気用品取締法が電気用品安全法に改正されたため	中野	芦原
改版	2006. 12. 20	5. 表示 様式を変更	納入仕様書標準化	森安	阿部



仕様書番号 : SD 1047C-18

## 変更履歴

	年月日	見直し・変更内容	変更理由	承認	担当
改版	2010.11.10	試験電圧変更 (水中→スパーク) 0.75mm <sup>2</sup> ~22mm <sup>2</sup> : AC2000V/min. → 0.75mm <sup>2</sup> ~8mm <sup>2</sup> 7500V/0.15s. 14mm <sup>2</sup> ~22mm <sup>2</sup> 10000V/0.15s. 38mm <sup>2</sup> ~100mm <sup>2</sup> : AC2500V/min. → 12500V/0.15s.	JISとの整合化のため	宮田	板澤
確認	2015.11.10	仕様内容の確認	見直し周期による	宮田	板澤
確認	2020.11.10	仕様内容の確認	見直し周期による		



## 電気機器用耐熱ビニル絶縁電線

### 1. 適用範囲

この仕様書は、600V以下の電気機器の配線に用いられる、導体が可とうよりの耐熱ビニル絶縁電線（以下、電線という。）について規定する。

尚、この電線は、改正RoHS（RoHS2）指令（電気及び電子機器中の特定有害物質の使用制限に関する2011年6月8日付欧州会議・理事会指令 2011/65/EU及び2015年3月31日付委任指令 2015/863/EU制限物質リスト）に対応済みである。

### 2. 記号

電線の記号は、“HKIV”とする。

### 3. 材料、構造及び加工方法

材料、構造及び加工方法は、付表及び次の各項による。

- (1) 導体 導体は、JIS C 3102（電気用軟銅線）に規定する軟銅線をより合わせたものとする。
- (2) 絶縁体 絶縁体は、(1)の導体上に付表に示す厚さの耐熱ビニルを導体と同心円状に被覆する。絶縁体の厚さの平均値の許容差は、付表の値の±10%以内とし、最小厚さは、付表の値の80%以上とする。

### 4. 特性及び試験方法

特性及び試験方法は、 $0.75\text{mm}^2\sim 14\text{mm}^2$ は、JIS C 3316（電気機器用ビニル絶縁電線）のHKIVにより、 $22\text{mm}^2\sim 100\text{mm}^2$ は、JIS C 3317（600V 二種ビニル絶縁電線）による。

### 5. 表示

電線の表面には、下記の事項を容易に消えない方法で連続表示するものとする。

- (1) 電安法による特定電気用品の記号（＜PS＞E）
- (2) 製造業者名または略号
- (3) 耐熱性である旨の表示（タイツ）
- (4) 電線の記号
- (5) 導体公称断面積（ $0.75\text{mm}^2\sim 38\text{mm}^2$ のみ）
- (6) 製造年
- (7) RoHSに対応している旨の表示（LF）



付表 HK I V

導 体			絶縁体 厚 さ	仕上外径	最大 導体抵抗  (20℃) Ω /km	最小 絶縁抵抗  (75℃) MΩ km	試験電圧  V / 0.15s	参 考
公 称 断面積  mm <sup>2</sup>	構 成  素線数/素線径mm	外 径  mm						概算質量  kg/km
0.75	30/0.18	1.1	0.8	2.7	24.4	0.05	7500	14
1.25	50/0.18	1.5		3.1	14.7			20
2.0	37/0.26	1.8		3.4	9.50			28
3.5	45/0.32	2.5		4.1	5.09			46
5.5	70/0.32	3.1	1.0	5.1	3.27	0.04	10000	70
8	50/0.45	3.7	1.2	6.1	2.32			100
14	88/0.45	4.9	1.4	7.7	1.32			170
22	7/20/0.45	7.0	1.6	10.5	0.844			270
38	7/34/0.45	9.1	1.8	13.0	0.496	0.03	12500	440
60	19/20/0.45	11.6		15.5	0.311			670
100	19/34/0.45	15.2		2.0	19.5			0.183